

公式試合記録(15人用)



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名

平成26年度全国高等学校総合体育大会
ホッケー競技大会

試合番号 5 備考 年 H 26 月 8 日 2 時間 15 : 50 場所 山梨県立白根高等学校第二運動場 ピッチ 人工芝(W)

チーム名

富山県立石動高等学校

試合 5 - 0
(前半 1 - 0)
(後半 4 - 0)

延長 -

チーム名

愛知産業大学工業高等学校

先発	No.	氏名	G	Y	R
✓	1	石塚 翼			
✓	2	浦下 陸			
✓	3	沼田 涼平			
✓	4	佐土 弘樹			
✓	5	岡崎 隆志			
✓	⑥	牧 和輝			
✓	7	折戸 開			
✓	8	加藤 凌聖			
✓	9	金田 浩輝			
✓	10	細川 由隆			
8	11	大沼 寛之			
✓	12	松本 樹貴			
	13	荒谷 惇之介			
7	14	折田 開都			
30	15	長谷川 拓馬			

先発	No.	氏名	G	Y	R
✓	1	中島 快			
✓	2	松浦 響			
✓	3	山田 大貴			
✓	4	鷺見 太成			
✓	⑤	安田 希成			
✓	6	岡田 光輝			
10	7	近藤 快飛			
✓	8	早坂 陸			
✓	9	村田 大智			
✓	10	小原 孝之			
10	11	高橋 篤季			
✓	12	佐藤 祐樹			
✓	13	竹宮 修兵			
15	14	山口 晃			
21	15	白石 翔			

チャレンジ権の行使 (成功○、失敗×を記入)

時間				
判定				

特記事項

監督 穴田直樹

アンパイア 高橋 忠誠

サジェスチョンUP

ジャッジ 河村 圭

ジャッジ 五島 梨原

チャレンジ権の行使 (成功○、失敗×を記入)

時間				
判定				

監督 鈴木 雅詞

アンパイア 高橋 伸介

サジェスチョンUP

リザーブアンパイア 木下 英直

T. O. 渡邊 希一

チーム	時間	No.	種	スコア
石動	14	11	FG	1-0
石動	44	8	PC	2-0
石動	56	10	PC	3-0
石動	67	8	PC	4-0
石動	70	8	FG	5-0

チーム	時間	No.	種	スコア

チーム	時間	No.	種	スコア

戦評用紙



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名

平成26年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技

種別	試合番号	年	月	日	時間	場所	ピッチ
男子	5	H 26	8	2	15 : 50	山梨県立白根高等学校第二運動場	人工芝(W)

チーム名

富山県立石動高等学校

試合	5	-	0
(前半)	1	-	0
(後半)	4	-	0

延長

SO戦

チーム名

愛知産業大学工業高等学校

先発	No.	氏名	G	Y	R
✓	1	石塚 颯			
✓	2	浦下 陸			
✓	3	沼田 涼平			
✓	4	佐土 弘樹			
✓	5	岡崎 隆志			
✓	⑥	牧 和輝			
✓	7	折戸 開			
✓	8	加藤 凌聖			
✓	9	金田 浩輝			
✓	10	細川 由隆			
	11	大沼 寛之			
✓	12	松本 樹貴			
	13	荒谷 惇之介			
	14	折田 開都			
	15	長谷川 拓馬			

先発	No.	氏名	G	Y	R
✓	1	中島 快			
✓	2	松浦 響			
✓	3	山田 大貴			
✓	4	鷺見 太成			
✓	⑤	安田 希成			
✓	6	岡田 光輝			
	7	近藤 快飛			
✓	8	早坂 陸			
✓	9	村田 大智			
✓	10	小原 孝之			
	11	高橋 篤季			
✓	12	佐藤 祐樹			
✓	13	竹吉 修兵			
	14	山口 晃			
	15	白石 翔			

TO	渡邊 希一	ジャッジ	五島・河村	アンパイア	高橋忠織・高橋伸介
----	-------	------	-------	-------	-----------

【戦評】

第77回全国高等学校ホッケー選手権大会、富山県立石動高等学校対愛知産業大学工業高等学校の試合は、愛知産業大工のセンターパスにより開始される。開始早々、愛知産業大工は、⑫佐藤がファーストシュートを打ち勢いを見せる。それに対して石動は、カウンターから14分、⑧加藤が相手DFからボールを奪い、サークル内に走り込んでいた⑪大沼がフリーでそれを受けると、そのまま先制点を決める。その後も石動は、細かいパス回しで攻めの姿勢を見せるものの、得点チャンスには至らない。愛知産業大工も、粘り強いDFで前に出ようとする。両者共に一進一退の攻防が続き、前半戦を折り返す。

後半戦に入ってから石動はDFのアウトレットから攻撃の機会をうかがい、正確なパス回しから徐々に試合のペースを掴み始める。後半47分石動⑧加藤がPCからプッシュシュートを決め切り3点目とする。追いつきたい愛知産業大工は積極的にプレッシャーをかける。後半52分53分とPCのチャンスを得るが、石動①GK石塚のこうセブに阻止される。一方で石動は後半56分にPCによるバリエーションから⑩細川が押し込み点差を広げる。さらに、後半67分PCで得点を重ね、後半70分⑧加藤がGKとの一対一の場面で技ありのシュートを決める。そのまま試合は終了し、前半1-0、後半4-0、計5-0で石動が勝利する。